ハビタット福岡市民の会　ニュースレター　発行 ２００８年4月２４日

Citizens Net for UN Habitat Fukuoka
ハビタット福岡市民の会

２３号の主な内容

■総会・交流会を開催
■ネパール「ハビタット事務所」訪問
■職員紹介（ヤン氏）
■今後のスケジュール
■会費納入のお願い（納入状況）まど

第23号
http://cnhf.npgo.jp

■総会およびハビタット福岡事務所との交流会を開催

●総会

１月３１日、18：30よりアクロス福岡のグランチャイナにて2008年度の総会が開催され、2007年度の事業報告、決算報告および、2008年度の事業計画、予算計画が承認された。

2007年度会計報告

収入の部	前期繰越金	158,104円
	会費	22,000円
	雑収入	1,246円
	収入合計	181,350円
支出の部	NL印刷費	47,835円
	郵送費	27,200円
	地球市民どんたく	14,189円
	ワークショップ	3,000円
	フクネット年会費	2,500円
	送金手数料	885円
	支出合計	95,609円
次期繰越金		85,741円

2008年度事業計画

毎月第3木曜日に定例会を実施
7月と10月にニュースレターを発行
地球市民どんたくに出展
国連ハビタット福岡事務所との交流会を開催
などを計画

2008年度の運営組織

下記の通り承認された。

代　　表　牟田　慎一郎
副 代 表　佐竹　芳郎
事務局長　諸藤　恵子
会　　計　山前　隆
監　　事　島　祐二郎

●ハビタット福岡事務所との交流会

総会に引き続き、国連ハビタットアジア太平洋事務所の皆さんと共に交流会を行った。

バラット　諸藤さん　ラリス　牟田　金森　アンジェラ　山崎　ヤン

福岡事務所からは、ヤンさん、ヤンさんの奥さん、ラリスさん、バラットさん、ローウィさん、アンジェラさん、川崎さん、鬼塚さんなど多数の参加があり、楽しい有意義な交流会となった。お忙しいなか野田所長もご挨拶に来られた。初めての参加者にも好評だった。

諸藤　　ラリス　　金森　　アンジェラ

山前　　ヤン　　小田　　坂口　　バラット

ヤンさんの奥さん　川崎　ローウィ　　鬼塚　　佐竹

■ネパール「ハビタット事務所」を訪問

牟田代表と会員の西田さんは、ネパールの友人の結婚式に招かれ、2月27日に福岡空港を旅たち、同日夜首都カトマンズに着いた。
翌28日、ホテルと同じLalitpur地区にあり、歩いて10分ほどのハビタット事務所を訪れた。

ハビタット事務所前で西田さんとKarunaさん

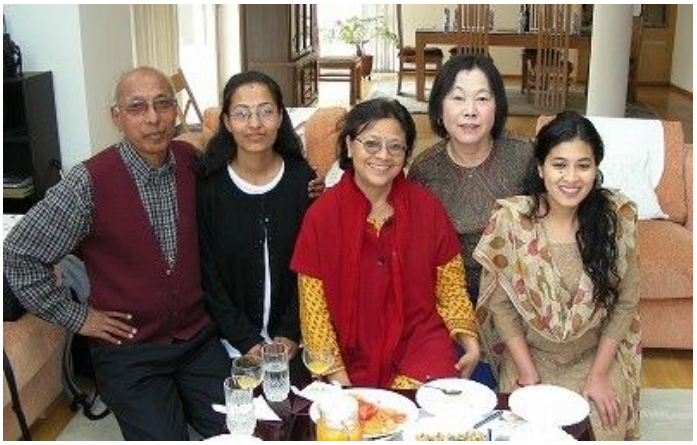
ハビタット事務所の訪問目的は、表敬訪問だけではなく、福岡のNPO「アジア太平洋こども会議イン福岡」で、こども大使として福岡に来たことのあるこども達のOB、OG組織である「BRIDGE Club Nepal」の代表とハビタットネパール事務所のメンバーを引き合わせ、その活動において、ハビタットと協働する橋渡しをすることであった。
国連ハビタットアジア太平洋事務所のネパール担当であるバラットさんにあらかじめアポイントを取っていただいていて、私達がハビタットネパール事務所に着くと、そこにはすでにBRIDGE Club Nepalの代表をしているKarunaさんも来ていた。
Habitat Program ManagerのPrafulla Pradhanさんと Water for Asian Cities Program のProgram Associate であるRajesh Manandharさんが応対してくれた。Rajeshさんが、ハビタットネパール事務所のプロジェクト概要について詳細に説明をしてくれた。

Rajeshさん　Prafullaさん　Karunaさん　牟田代表

ネパールでは、Water for Asian Cities Program NEPALに基づき、水や公衆衛生および貧困の撲滅に関するプロジェクトに力を入れていた。
今後ブリッジクラブネパールと連携して、これらのプロジェクトの一部に参画させていただき、ブリッジクラブの活性化とリーダー育成にご協力いただくようお願いして、事務所を後にした。

●マダブ・マテマさんに再会

翌29日には、元国連ハビタット福岡事務所の所長代行をしていた、マダブ・マテマさんのお宅を訪問した。マテマさんは、福岡事務所の後、ナイロビのハビタット本部勤務となり、昨年2月国連を定年退職され、ネパールに戻られていた。次男夫婦と同居されお幸せそうな姿を拝見し、再開を喜びあった。


マテマさん　カルナさん　クリシュナさん　西田さん　次男のお嫁さん

●ネパールの結婚式

ネパールのシャキャ族の結婚式を紹介したい。まず、花嫁側だけの披露宴が大きなパーティ会場であった。約900名がかけつけ、お祝いの品(洗面器のようなものや大きな金属製の壷)を贈り、お祝いの言葉をかけ。食事はビュッフェ形式で三々五々と集まり去っていく。

2日目、朝からお坊さんが来て儀式を行う。延々と夕方まで続き、花婿側の親族が楽隊の先導で、花で飾った車をしたてて迎えに来る。儀式のあと花嫁を車に乗せ花婿の家まで、踊りながら行進する。歩いたら15分ぐらいのところを1時間半ぐらいかけてゆっくり練り歩く。

花嫁側の親族はついて行けないそうである。
3日目は、花婿側の披露宴が同様にパーティ会場であった。これでもまだ短いほうだとか・・・。(牟田)

■職員紹介

ヤン・メイウィッセン（Jan Meeuwissen）さん

４月８日、ハビタット福岡市民の会の佐竹、諸藤、山前が、ヤンさんに国連ハビタットアジア・太平洋地域事務所（福岡事務所）でインタビューしました。ヤンさんは、現在、福岡事務所の上級人間居住専門官です。

○出身はどこですか、何歳ですか？

オランダのデルフト出身で５３歳です。

○どこの大学で何を勉強しましたか？

デルフト工科大学で建築及び都市設計を専攻し修士号を取得しました。

○なぜ国連ハビタットに就職したのですか？

１９７９～８０年にスリランカでボランティア活動をした後、大学の修士に戻りましたが、そのときの体験で開発途上国の開発に関わる仕事をしたいと思うようになり、国連ハビタットに興味を持ったことが理由です。１９８２年に国連ハビタットに就職し、５年間様々な国の現場で働いたのち、ナイロビ本部に移りました。

○ナイロビではどんな仕事をしましたか？

そこでは、「コミュニティ開発プログラム」を開発する仕事をしました。地域の持つ課題についてコミュニティが政府と相談しながら自ら意思決定していく地域活動計画（CAP）など、画期的な手法を導入したこのプログラムは、現在でも、色々な事業や色々な国で使われています。

○いつ福岡事務所に来られたんですか？

１９９７年８月に福岡事務所が設立されることになり、準備の段階から、１番最初に来ました。

○福岡事務所での担当国はどこですか？

バングラデシュ、モルディブ、スリランカ、東チモール、ミャンマー、ブータンです。

○担当国ではどんな仕事をしていますか？

担当国の全てのことを担当しています。どういう支援を必要とするか政府の要望を聞く、国連ハビタット側からも提案する、これらの調整を行います。例えば、バングラデシュでは貧困の改善に役立つプロジェクトを行っています。

○国連ハビタットはどんな機関ですか？

国連ハビタットは開発途上国の都市化や居住に関する様々な問題に取り組む国連機関ですが、技術協力の機関なので、資金を出す機関や国を探さなければなりません。津波被害のあったスリランカや戦災を受けたアフガニスタンなどは多くの機関や国より沢山の資金が集まりましたが、軍事政権が続くミャンマーでは資金を出す機関や国が少なくなっています。

○日本への期待は何ですか？

日本には多くのご支援をいただいています。特に、スリランカやインドネシアの災害の時などに、緊急に対応するための重要な役割を持つ事業（緊急支援対応事業）に資金を出していただきました。大変感謝しております。

○今後のプロジェクトは何ですか？

都市化にからむスラムの改善のプロジェクトがあります。

○将来の夢は何ですか？

夢は、管理職になるよりも、現地、現場に関われる今やっていることを続けていきたいと思っています。１年間の内、４分の１が海外出張です。

○印象に残った仕事は何ですか？

これですと言うより、私は、コミュニティの人達が自分たちの力で作り上げ、住みたくなるように改善した街に満足して喜んでいる、誇りを持っている姿に出会えることが喜びです。

○モットーは何ですか？

「問題は解決されるために、そこにある」です。問題を明らかにし、共同で取り組むことが大事です。

○趣味は何ですか？

自分で料理を作ることです。仕事を忘れ、リラックスできるからです。色々な国の料理を作ります。日本料理も好きですが、納豆だけは食べられません。日本は建築の技術も素晴らしいので、建築デザインを見て回るのも好きです。その土地にある美術館も必ず訪れています。

○福岡の印象はどうですか？

整った街である印象です。私は福岡が好きです。伝統的な祭りや近代的な祭りも多くありますから。

佐竹　　諸藤　　ヤンさん　　山前　　中村さん

ヤンさんはとても優しくにこやかで、丁寧に受け答えしていただきました。仕事に充実感を持ち、誇りを持って仕事をされていることが感じられました。通訳はプロジェクトアシスタントの中村麻理さんにしていただきました。ありがとうございました。

■今後のスケジュール

今年は、国連ハビタットアジア太平洋事務所とハビタット福岡市民の会および日本国際連合協会福岡県本部、福岡県国際交流センター共催で、「いのちの水プロジェクト～国連ハビタットの事業現場から」をテーマに8月と11月に講演会を開催予定です。
みんなで成功させましょう！

５月１５日（木） 19:00～21:00　**定例会**
６月１９日（木） 19:00～21:00　**定例会**
７月１７日（木） 19:00～21:00　**定例会(NL24 発行)**
８月１９日（火） 18:30～20:00
講演会１　アフガニスタン
講師：ラリス・ランカティケレ’（スリランカ出身）
（国連ハビタット人間居住オフィサー）
会場　アクロス福岡 1F　円形ホール
９月１８日（木） 19:00～21:00　**定例会**
10月９日（木）～13日（月） 11：00-18：00
地球市民どんたく 2008
会場：福岡市役所西側ふれあい広場北側緑地など
内容：NGO などの活動紹介ブース展示
ワークショップ、国際協力セミナー
運営に携わるボランティアを募集中
募集期間　４月１０日～５月８日
10月16日（木） 19:00～21:00　**定例会(NL24 発行)**
11月24日（月・祭） 時刻未定
講演会２　モンゴル
講師：バラット・ダヒヤ（インド出身）
（国連ハビタット人間居住オフィサー）
会場：福岡アジア美術館あじびホール（仮予約中）
12月18日（木） 19:00～21:00　**定例会**
ハビタット福岡事務所との交流会
１月22日（木） 18:30～21:00　**定例会(総会)**
２月19日（木） 19:00～21:00　**定例会**
以上のスケジュールは、変更することがあります。

■２００８年度会費納入のお願い

このニュースレターは、皆さん方の会費により発行されています。会費納入による皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

年会費　一般 2,000 円　学生 1,000 円
郵便振替口座　０１７３０－０－７８４３４
加入者名　ハビタット福岡市民の会

■事務局からのお知らせとお願い

●運営委員募集

ハビタット福岡市民の会では、ニュースレターやホームページの作成、学習会やイベントの企画・運営など、会の運営をお手伝いしてくださるボランティアスタッフ（運営委員）を募集しています。ハビタット福岡市民の会の活動にご興味のある方、何かボランティアをやってみたいという方は、当会までご連絡ください。私達と一緒に友達づくりをしながら楽しく活動しましょう！

●活動内容

・ニュースレター（年3回発行）の取材、作成、発送
・ホームページの作成・更新・学習会やワークショップの企画・運営
・募金活動や地球市民どんたく、世界ハビタットデーなど、各種イベントの企画・運営
・ハビタットの役割や国際理解に関する出前授業の企画・運営
・国連ハビタットアジア太平洋事務所主催のイベントなどの運営支援
・スタディーツアーの企画・運営

●ハビタット福岡市民の会チラシ

Ａ４版の説明用チラシをハビタット福岡市民の会の PR に活用し、入会を誘いましょう！
下記 Website よりダウンロードできます。

編集後記

今年の桜は、寿命が長かったように思います。そして今、庭に作った藤棚に藤の花が５分咲きです。花は、ほんとうに心を癒してくれますね！
ネパールのカトマンズで偶然出会った青年が、４月から鳥栖の日本語学校にきました。奇跡に近い出会いに、世界は狭いことを実感しました。またブリッジクラブネパールのカルナさんは、この７月に福岡にやってくることになったようです。再会をたのしみにしています。
人との出会いは、本当にすばらしいとつくづく思います。（SM）

事務局・お問い合わせは

郵便物のあて先は：
〒810-0041　福岡市中央区大名２－６－４６
福岡市 NPO ボランティア交流センターあすみん 連ボックス ２号
お問い合わせは：
TEL　090-6770-2481（代表 牟田）
FAX　0942-41-2080
E-mail: cnhf@npgo.jp
URL　http://cnhf.npgo.jp